

何がどうなったか分からず…

ずっこけ入院 約2カ月半

気がついたらどこかの病院のベッド内。どこも痛くないし、元気なのに何でここにいるの？「うちに帰りたいー！」と叫んだら、「まずは手術を受けてから」といわれた。「えっ、何の手術？」と思ったら、「まあまあ、もっと賢くなって戻ってくるから」と言われ、お昼に手術室へ。

手術室では、担当の看護師さんや先生などが色々準備しているのが見える、と思ったらいつの間にか麻酔をかけられていた。目が覚めたら外は明るい。「何で簡単な手術を大袈裟に」と少々怒りを持って訴えると、…。目がさめた日は、手術室の翌日でした。7時間にも及ぶ脳内の手術で、回復したのが嘘のよう。手術医に「具合はいかが？」と尋ねられ、「絶好調です」と答えて、周りはさらにずっこけ。「こんな元気な人珍しい。大体20%くらいしか助からないんだよ。大抵脳を痛めて下半身不随や言語障害が起こるんです」と先生。私は痛くも痒くもなく、「早く家に帰りたいー」だった。ベッドに寝ているので体調はいまいち分からず。そういえば、栄養は血液からで、何も食べていない。トイレにも行っていない。「トイレに行きたい」と訴えたら、「処置はしてあるから、トイレはベッドでOKよ」と言われた。「えっ、この歳でオムツはないでしょ」といったら、「あなたはまだ歩けませんよ」と言われ、少しずつ現状が見えてきた。



ぶっ倒れてから3週間意識不明状態。高熱で体温を下げるための服を着せられ、窓を開けて家族がうちわで私の体を冷ましていたそう。時々うわごとで「ほっといてー」とか言って家族はずっこけっぱなし。熱が下がって意識が戻って、本題の手術を受けました。病名はクモ膜下出血。それでなくても貧血がみだったのに、さらに血液をムダにしたのでした。でも術後は良好で、1週間後に一般病棟へ移動。先生も出来ることは全部自分でしましょうと1人でトイレにも。でも液体栄養剤付きの移動は動きにくい。

日本と違っておおらかなベルギーの病院。何を食べてもいいよと言われ、ちらし寿司とアイスクリームを最初に食べまし

た。どちらも冷たいものでお腹壊しそうでしたが（笑）。その後、友人がとっかえひっかえお見舞いに来てくれて、美味しい和食をこれでもかかって位いただきました。だって、ベルギー食は、朝、タパン。昼はジャガイモ。毎日ちょっとねー。

さて、長期入院を体験して発見したこと、気をつけなければいけないことを報告しましょう。

1. 病院の選択

夜23時に事件が発生。自分の携帯電話で救急車を呼び、名前と住所を言ったのち倒れたみたいです。そのため、家族がお世話になっている近くの病院へ運んでもらいました。しかし、この日は土曜日。治療できる先生がいないと、さらに別の病院に運ばれました。病気をもちの方は、担当医、担当病院を日ごろから探しておいたほうがよさそうです。



2. 治療

脳だけでなく、目と足の指に内出血、尾てい骨を痛めるなど 付随して引き起こした症状があります。そのため先生が数人担当に。でも先生同士のコンタクトがなく、話がうまく伝わりませんでした。心臓外科で心臓の動悸が激しいと、薬を飲むのが当たり前だと思うのですが、看護師は対応しない。その旨伝えると、「先生から指示がでないと私たちは何も出来ない」と。でも看護師が毎日患者を見ているのだから、何かあったら看護師が医者に連絡するのが普通と思うのですが、この担当科は、医師と看護師長の折り合いが悪く、連携が上手く出来ていませんでした。そのため足が痛いのに無理に歩くなど、患者の精神に悪い影響を及ぼしていました。結局、病院を替わり、徹底的チェックして尾てい骨を痛めていたことがわかり、新たに治療を始めました。ただ、新しい病院でも「それはあなたから医者に言ってください」とは言われました。自分のことは自分でしましょう、とは言いますが、毎日医者に会うわけではないし。第一、数人の医師名を全部覚えていないよー。気がついたことは、看護師、医師に相談して解決策を早く見つけたいものですね。

3. 病院食

ベルギー人って家では粗食、と思うほど食品種が少ないです。朝はパンにバターとジャム、チョコレートペーストなど。お昼はスープ、肉に野菜1品とジャガイモ。デザート付き。夜は再びパンとハム、またはチーズ。朝、夜の飲み物はコーヒー。昼は食後にコーヒーと1日中コーヒーを飲



Carlson
Wagonlit
Travel

Tel +32 (0)2 258 8559
E-mail japanexpress.bru.be@contactcwt.com
緊急時 +32 (0)473 56 48 89
Fax +32 (0)2 201 9448
Url www.cwtjet.com
住所 Av. du Boulevard 21, 1210 Brussels
営業時間 月～金 (09:00-19:00)

JET (JAPAN EXPRESS TRAVEL)
世界最大手旅行会社のカールソン・
ワゴンリー・トラベルの日本人および
日系企業専用部門です。ご出張手配から
プライベート旅行までお気軽にご相談
ください。

Japan Express Travel

AUTOMATIC
CARS
VOTRE SPÉCIALISTE DE
LA VOITURE À BOÎTE AUTOMATIQUE

中古車

お求め、売却ご予約の方は是非当社へ!

オートマチック車専門に常時40台前後の在庫を保有し、品質管理をモットーとしています(品質保証1年)。ご予約が立ちましたらお気軽にご相談ください。

Garage Automatic-Cars SA

www.automatic-cars.be

Rue du Tige 125, 4040 Herstal

Tel : 0472 93 00 72 Mr. Fabio Ferraro (仏/英語)

Tel : 0477 53 14 83 米田 (日本語/英語)

んでいます。おまけに私のように心臓の動悸が激しい人用に、カフェイン抜きのコヒーなんてない。2つ目の病院では、文句を言ってカフェイン抜きのコヒーを用意してもらいました。聞くところによるとビールくらいは、病人でも希望すれば飲めるそうです。さすがベルギーですね。病院によって



は、ジャガイモを米にするとか、野菜を多めにと希望を伝えられますが、基本ベルギー食ですので、長期療養をされる方は、時々和食があると精神的にも助けになると思います。そして、夕食が17時なので、その点も悪しからず。18時には片付けにくるので、食べないとそのまま持ちいかれることもあります。



4. 持ち物

突然の入院は、身の回りの物がないので貸してもらえますが、使い慣れたブラシ、タオル、洋服は持参したほうがいいでしょう。特に昼間寝ている必要のない場合は、普通に服を着ていても大丈夫です。私は、足が痛いため入院が長引き、昼間は服を着ていました。そのため、な

んで入院しているのって見られる場合もありましたが。お茶を沸かしたり、美味しいデザートを食べたりする食器を持参したら、病室はサロンに変身。お見舞いに来てくれたお友達とくつろげます。

5. 快適入院生活のために

出来ることは自分です。これが退院の早道です。中には出来るのにやらない患者もいるそうですが、一生病院に在るわけではないので、出来ることからやって普通の生活に慣れていきましょう。そして、他の患者との情報交換も大切。新しい発見があるかも知れません。私がいた科には、以前アルペール王も入院していたそうです。ケアしてくれる看護師は、大学生の研修の場合もあるので、プロからは聞けない話もありました。また、入院中は家事や育児がないので、日ごろ出来ないことを始めるのも気分転換になるかも。私は、TV、読書ともにだめと言われたので、一度やってみたかったヴァイオリンに挑戦しました。



6. 退院後の通院

退院したら終わりではありません。足の痛みは続き、内出血はどうなるの・・・と色々手当ては続きます。しばらく運転も出来

ないので、近くの病院は本当にありがたい。また、平日に病院へ運んでくれる親戚や友達に感謝です。アポを取って出かけても、「申し訳ない、今日は急患の手術で先生は来れなくなりました。〇日△時に来てください」と断られることも。まあ、急患だから仕方ないけど、1カ月待つてアポの延期はつらい。死にそうじゃないから待てるけど・・・。とにかく焦りは禁物。気を長く持って治療に当たしましょう。

7. キネジスト

1カ月近くベッドの中、その後3カ月歩けず。キネをして体を元に戻すのが当然の状態でした。来てくれたキネジストは親戚のおばさん。キネより家族の話に花が咲く。いやいや、ちゃんと運動もしています。でも、長らく動いていなかったの、あちこちが痛い。傷ついた右足は痛くて動かせない。動かさないと治らない。わー、どうしろって言うの？という日が続きますが、毎日少しずつ体を動かすと、段々動きが楽になりました。でも、寒いしじっとしてるほうが楽と思っていたら、「今日はお天気だから外を歩きましょう」と誘われ家の前をお散歩。外の空気は新鮮で気分が変わります。あと数回キネをやり続けて、さて春には1人で外出できるかな？楽しみです。



まずは健康第一。外国で長期入院は、言葉が通じない、食事が合わないなど不便も多いです。病気になる前に自分のウイークポイントを知って、無理せず楽しいベルギー生活をお送りください。食べるのが大好きな私は、食事だけでもうんざりでした。「食事が合わないから退院させてー」と何回先生に訴えたか。先生も「僕も毎日この食事はいやだね。しかも夕食17時は早すぎるよね」と言っていました。笑いながら内心「だったら何とかしてよー」の入院患者でした。

最後にこの場を借りて、お見舞いに来てくださった方、早く元気になるようお祈りして下さった方、プチポワの再開を長く待つて下さった方、皆様本当にありがとうございました。プチポワはまだまだ続きますよー！



海外引越、国内引越、ペリカン便 事務所移転も日通へ

ご帰国引越で不要になった家具をご後任、ご友人宅へ
“おゆずりライナー”で、ご配送いたします。
そのほか、ピアノの移動、お引越後のハウスクリーニング等
なんでもご相談ください！！



ベルギー日本通運

海運貨物・航空貨物・ロジスティックスも日通へ



NIPPON EXPRESS BELGIUM
BRUCARGO BLDG/738B - 1931 ZAVENTEM
TEL/ 02-751-7814/15 FAX/ 02-751-9246

E-mail/ neb.removal@neeur.com
http://www.nittsu.eu/be/